



▲幼稚園内の花園

近來學校園の設備が盛に唱導

されるのは結構であります。が之は當に學校のみならず、家庭にも幼稚園にも必要であることは曾つて本誌にも女子高等師範學校の竹島先生が述べられたので、明なことでありますから讀者諸君も定めし御實行の事だらうと思ひます、併し中には、花、野菜の種子がなくて御困りの方もあるでせうが、其云ふ方は左記の特志家へ申込まれたらば宜

しかるうと存じます、

歐米各國に於ては、夙に之れが施設の行はれつつある所謂學校園なる者の、教育上如何に裨益を興ふるものなるかは、等しく教育社會の認むる所、而して吾人農藝界に身を措くものの上より見て、この學校園なるものの獨り直接教育上に効果を興ふるのみならず、亦間接に農藝の進歩發達に向て、尠少ならざる裨益を興ふるものなることを感ずるものなるが故に、大に之れが普及を渴望するものなりしが、顧みて本邦の有様を見るに、極めて僅少の學校を除くの外、未だ冷れく之れが設置を見るに到らざりしは、本邦教育上の大欠點として吾人の甚だ遺憾に感ぜし所なりき、然るに今や文部省に於ても、大に之れが設置を奨励せらるることとなり、これよりして漸く之れが普及を見んとするの氣運に向ひつつあるは、吾人の實に欣賀措く能はざる所とす、吾人微力なりと雖、本邦農藝の革進に向て致て全力を捧げんとするもの、從て吾人の目的を達する上に於て、少なからざる裨益を興ふる學校園なるもの普及完成を祈るの情や切なり、依て聊か吾人の微衷を表せんが爲め、既に之れが設備を有せらる、學校、及び將に設けられんとする各學校に對し各地方に適する、珍奇有益の草花蔬菜類の種子をば、無料にて贈呈せんとす、御希望の向は其旨御申越相成らば吾人は喜んで費命に應ずるものなり、

明治廿九年二月 埼玉縣北足立郡神根村西新井宿三十一番

日本農藝革進會主任 小野寺行三

▲地方の幼稚園

近來地方に幼稚園の勃興するも

の多く、保母の需用も従て増したる様なり、聞く所に因れば近くは横濱遠くは韓國仁川より招聘の紹介などもある由、我保育事業の爲め慶賀す可き事共なり、而して其多くは園長若くは保母長たる人を求め來る所を見れば未だ地方には中等教育を受けたる婦人の保育事業に従事するものなしと見ゆ、是は畢竟幼稚園の地位高からざるに因る可しと雖も我幼稚園界のためには頗る遺憾なりと云ふ可し、一躰保育事業の性質たる普通學術の素養ある婦女子を要するは明かなる事にして其事業の神聖にして高尚なること云ふ迄もなければ地方の高等女學校卒業生は奮つて保育法を研究し婚嫁前兩三年間此「小天園」に遊ばんことを切に余輩の勸むる所なり。

▲函館本願寺の幼稚園 北海道函館市なる本願寺

別院にては院の事業として七千圓の大費を投し巨然たる幼稚園設定の計畫ある由にて目下人を東京に派して設計調査並に保母長たる可き人を求めつゝありと云ふ寺院としては誠に恰好の事業にして近來の美舉と云ふ可し、聞く所に因れば將來益進みて尋常及高等小學校並に高等女學校を創設する目論見の由、壯なりと云ふ可し、同地方は氣候稍寒しと雖も我國中に於て最良なる健康地の一にして外國の使臣なども同地駐在を喜ぶ程なれば、意氣ある婦人は行きて我北海の愛兒を掬育す可きなり。

▲保母養成所 豫て東京市神田區一ツ橋幼稚園内に設けられたる東京保母養成所にては又々第三回の講義を開く由にて規則を發表せり、左に録するもの之なり。

東京保姆養成所規則

- 第一條 本所ハ幼稚園保姆ヲ養成スルヲ以テ目的トス
 第二條 修業年限ハ六ヶ月トス
 第三條 授業ハ毎日午後三時三十分ヨリ六時三十分迄トス
 第四條 學科課程及教授時間左表ノ如シ
 學科課程教授時間表

學科	每週授時間	課程
修身	一	人倫道德ノ要旨
教育	三	教育ノ原理、兒童學
保育法	六	保育ノ方法及實習
國語	一	講讀、作文、談話
理科	二	通常ノ天然物ニ自然ノ現象人 身生理衛生ノ大要
圖畫	一	自在畫、用器畫ノ初歩
音樂	四	單音唱歌 樂器用法
合計	一八	此他課外講演及實地練習ノ時間ハ 其都度便宜之ヲ定ムルモノトス

- 第五條 本所ニ入學シ得ヘキ者ハ修業年限四ヶ年ノ高等小學卒業ノ者若クハ之ト同等以上ノ學力アルモノタルヘシ
 第六條 試験ハ修業年限ノ終ニ於テ之ヲ行フ
 第七條 授業料ハ一人一ヶ月金壹圓五十錢トス
 第八條 入學セント欲スルモノハ履歷書及入學金五拾錢ヲ添ヘテ

申込ムヘシ

神田區表神保町一ツ橋幼稚園構内

東京保姆養成所

電話本局一三四九

講師 女子高等師範學校教授 兼附屬幼稚園主事 中村 五六

外 數 名

▲女子高等師範の保姆實習科 前項の養成所は専ら學術の講義なれども來る四月より女子高等師範學校内に設けらるゝとか云ふ保姆實習科は該校附屬幼稚園内にありて専ら保育の實際を練習するもの、由にて入學志願者の資格は女子師範學校、師範學校女子部及ひ高等女學校(修業年限)の卒業生若くば之と同等以上の學力あるものに限り、且其定員も僅々八名に過ぎざれば目下保姆の需用には間に合はざる可し。

▲私立岡山盲啞院の設立 岡山縣盲人會にては、

先般の戦役に際し、失明者百五十餘名の多さに及べるに同情を表し、今回標題の盲啞院を設け、普通教育並に實業教育を施さんとする由、誠に欣ぶ可き擧なりと云ふ可し、吾人は此の如き擧の益々多からんことを望む。

兒守の春遊に就て

醫學博士 三島通良氏の談

左の一篇は婦人衛生雜誌に載せられたるものなるが有益なるものに付茲に轉載することとせり毎年ついでにの事ながら元日來屢々見受くるは兒守の嬰兒を脊負ひたるまゝ追羽子手毬つきをなし居ることにて世の母親は之に對し何等の注意も懸念も有せざるが多けれど、若し仔細に彼等の振舞を注視せば、寧ろ危険にして一刻も其注意を怠る可らざる

ものあり、何となれば兒守等は追羽子に夢中にて脊負へる小兒の事は更に其念頭に上さず、然るに彼等の羽子をつく度に背上の小兒は頭を前後左右に振られ、最初は不快なるに堪へずグズグズといへども、遂には心神朦朧として睡眠を催し來り、愈々頭を振らるれば、時々驚きて目覺むるなど姑らくも安靜を得ず、此の如きは往々腦振盪を招き、又單純性腦膜炎の因をなし然らざる迄も腦の疾患に罹り易からしむ、彼の夜驚症乃ち夜泣きなどいへることの原因は何れも之等に基するものなり又手毬つきも之は腦の疾患にはさのみ原因たらざるも兒守等は只だ毬の方にのみ氣を取られて次第に打かやめるより、自然背上の小兒は胸部を壓迫せられ、爲めに往々胃、肺、心臟等の病を醸すことあり故に子を持つる母親は常に之等の點に注意

して愛児の健康を其害せられざるの以前に保持するに努むべきなり

新刊紹介

●「家庭及教育」 全一冊 日本濟美會編

年と共に現はれたる一大著述は家庭及教育とす、

一千二百餘頁に亘る龐然たる菊版の大冊にして躰

裁及製本の美にして且堅牢なると紙質の良好なる

とは出版界近來の珍たる可く發行店主が損失を顧

みざる勇氣は確に認むることを得可し殊に挿畫の

多きは家庭に關する著述としては最も適當なるも

のと云ふことを得、今其内容を通覽するに第一篇

に於ては家庭及教育を總論し第二篇には身体及其

育成第三篇には精神及其養成第四篇には德育及美

育第五篇には精神的病弊及其矯正を論じ殆ど家

庭及教育に關する問題を網羅し盡したり然れど今仔細に其論ずる所を味ひもて行けば未だ俄に高論

卓説と稱するを得ざるが如し否却つて吾人をして

無遠慮に云はしめば單に倫理心理衛生教育等に關

する世の平凡なる諸説を編纂集輯したるに過ぎざ

るものと云ふことを得故に本書の價値は之を約言

すれば只其字彙的なるにありと云ふ可なり、察す

るに編者の意も亦然りしには非らざるか若し果し

て然らば徒に文字を大にし紙數を増加して五圓五

拾錢の高價を拂はしむるは、多少好事の譏を免れ

ざる可し。發行所は京橋區二丁目東海堂

●「田園婦人」 毎月一回廿五日發行

婦人世界に田園趣味及農藝上の智識を普及せんと

て興れるものにて趣味ある業をば平民的に眞實に

説きたれば頗る面白く讀まれたり殊に「羊をお買